

令和6年度 志教育全体計画

宮城県第二工業高等学校

<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td colspan="2" style="text-align: center; padding: 5px;">校 訓</td></tr> <tr><td style="width: 50%;">明朗闊達</td><td style="width: 50%;">勤労愛好</td></tr> </table>		校 訓		明朗闊達	勤労愛好
校 訓					
明朗闊達	勤労愛好				
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td colspan="2" style="text-align: center; padding: 5px;">本校の教育目標</td></tr> <tr><td colspan="2" style="text-align: left; padding: 5px;"> (1) 民主的で、教養豊かな社会人の育成 (2) 基礎学力の涵養と技術の習熟に励み日々進展する科学技術に十分に適応し、活躍できる工業人の育成 (3) 責任を自覚し、合理的な判断力と創造的な行動力のある職業人の育成 </td></tr> </table>		本校の教育目標		(1) 民主的で、教養豊かな社会人の育成 (2) 基礎学力の涵養と技術の習熟に励み日々進展する科学技術に十分に適応し、活躍できる工業人の育成 (3) 責任を自覚し、合理的な判断力と創造的な行動力のある職業人の育成	
本校の教育目標					
(1) 民主的で、教養豊かな社会人の育成 (2) 基礎学力の涵養と技術の習熟に励み日々進展する科学技術に十分に適応し、活躍できる工業人の育成 (3) 責任を自覚し、合理的な判断力と創造的な行動力のある職業人の育成					
生徒の実態、教師の願い <ul style="list-style-type: none"> ・素朴で純朴な性格で、授業以外の資格取得の講座などに積極的に参加する目的意識の高い生徒が多い。 ・「働きながら学ぶ」、資格取得等への指導・助言を通して、自己実現への認識、達成を図っていきたい。 	保護者や地域の願い <ul style="list-style-type: none"> ・毎日登校して、元気に学校生活を送ってほしい。 ・将来役に立つ技術を身に付けてほしい。 				
人と「かかわる」 <ul style="list-style-type: none"> ・様々な人と、場に応じた適切なコミュニケーションを図ることができる。 ・他者を理解し、尊重できる。 	よりよい生き方を「もとめる」 <ul style="list-style-type: none"> ・学校で学ぶ知識と、社会や職業との関連を実感できる。 ・学業と仕事の両立を実践する。 	社会での役割を「はたす」 <ul style="list-style-type: none"> ・学校や社会において自己の果たすべき役割を自覚し、責任を果たすことができる。 			
各教育活動における取組の観点 <p>各教科</p> <ul style="list-style-type: none"> [国語] 国語を適切に表現し、的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし心情を豊かにする。 [地歴・公民] 現代社会の問題を掘り下げ、よりよい社会の実現を考えさせていく。人間としての在り方や生き方を考えさせ、国家や社会の一員としての自覚を持たせる。 [数学] 数学的な活動を通して、数学における基本的な概念や原理・法則の体系的な理解を深め、事象を数学的に考察し表現する能力を高め、創造性の基礎を培う。数学のよさを認識し、それらを積極的に活用して、様々な場面・事象についての判断の根拠の一つとして活用する態度を育てる。 [理科] 自然の事物・現象に素直な気持ちで向かい合い、目的意識を持って観察・実験するなど根気よく行うことができる、粘り強い心と真摯な学習態度を醸成する。併せて自然や生命に深い畏敬の念を持てるような心を育む。 [保健体育] 健康や安全など知識やさまざまな運動の実践を通して、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を育てる。常に体力の向上を図り、明るく豊かな生活が送れる態度を育てる。 [芸術] 芸術の幅広い活動を通して、生涯にわたり芸術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、豊かな情操を培い、個性を尊重する精神を養う。 [外国語] 英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成する。言語や文化に対する理解を深めながら、情報や考え方などを的確に理解したり伝えたりするコミュニケーション能力を養う。 [家庭] 人間の健全な発達と生活の営みを総合的にとらえ、社会との関わりについて理解させるとともに、男女が協力して家庭や社会を築いていくための実践力を養う。 [工業：電子機械科] ものづくりや資格取得を通して、技術・技能の習得のみならず工業人として持つべき正しい倫理観や道徳観の育成を図る。 [工業：電気科] 基礎的・基本的な知識・技術の充実を図るとともに、ものづくりを通して豊かな心を育み、探究心を持って産業社会に貢献できる態度を養う。 	各学年の取組内容 <p>1年</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校生活に慣れるよう、生徒面談、生徒理解に取組み、生徒個々の特性を掴む。 ・夜間工業高校定時制での学校生活の在り方を指導する。 ・他者との関わり方について、最低限のルールを守るよう指導する。 ・進路講話、科長講話の実施。 <p>2年</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習活動への関心・意欲・態度を養う。 ・委員会活動を通して、自己の役割を自覚し、取り組むよう促す。 ・検定や資格と職業の関係について指導し、資格取得への足がかりを後押しする。 ・進路講話、科長講話の実施。 <p>3年</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進路講話、面談、求人票の閲覧等を通して将来を考えさせる。 ・検定や資格と職業の関係について指導し、より高い資格への挑戦や取り組み方を指導する。 ・委員会活動を通して、自己の役割を自覚し、取り組むよう促す。 ・進路講話、科長講話の実施。 <p>4年</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進路希望に基づいて、自己の将来について積極的に取り組む態度を醸成し、進路確定と実現を目指させる。 ・成りたい自分と成れる自分との差を自覚し、その差を埋めるよう指導する（含む面接・試験学習等）。 ・内定、合格後の生活指導を通して、卒業後の社会参加や自分で生活を作っていくことを考えさせる（含む礼状・入社前研修等）。 ・在学中、卒業後に挑戦できる資格や卒業証明等の文書の請求手順等について指導する。 				
家庭との連携 <ul style="list-style-type: none"> ・欠席、遅刻、早退以外にも、生徒の変化について家庭と密な連絡を取り合い、協力関係を築く。 ・学校評価を通じて、保護者の潜在的要望も含め検討・協議を図り、学校運営に反映させる。 	地域・企業との協働 <ul style="list-style-type: none"> ・学校評議員との意見交換や学校評価の検討を通じて、よりよい生徒への支援の在り方について協議を行い、学校運営に反映させる。 ・企業ニーズを知る、企業に生徒の個性・能力を見てもらうことを通じて本校の特色を知ってもらい、生徒の進路達成に結びつくよう取り組む。 				